

看護師等の「雇用の質」の向上のための研修会の報告

～ アンケート結果の概要 ～

平成 24 年 4 月

大阪労働局労働基準部労働時間課

大阪労働局では平成 23 年度から看護師等の勤務環境の改善等の「雇用の質」の向上のための取組を進めています。

本年 3 月 22 日に「看護師等の『雇用の質』の向上のための研修会」を開催しました。この研修会は、行政機関と病院団体及び看護団体が参画した企画委員会において内容等を協議し、その結果を踏まえて開催したものです。

※企画委員会は、大阪労働局のほか大阪府健康医療部、大阪府医師会、大阪府病院協会、大阪府私立病院協会、大阪府医療法人協会、大阪精神科病院協会、全日本病院協会大阪府支部及び大阪府看護協会が参画しています。

研修会には、定員 300 人のところ 187 病院 275 人の参加がありました。参加者の内訳は、院長等の病院経営者が 9 人、事務長等の事務部門の管理者が 77 人、看護部長等看護部門の責任者が 175 人で、その他の方が 14 人でした。

研修内容については、別添の「研修次第」のとおり、前半は行政機関からの看護師等の「雇用の質」に関する各種施策について説明が行われました。また、労働時間設定改善コンサルタントからヒアリングを行った 9 病院の取組好事例等について報告が行われました。

後半は、実際の病院における看護師等の勤務環境の改善にかかる取組事例として、社会医療法人ペガサスの理事長で、馬場記念病院の院長でもある馬場武彦氏から「看護師の雇用の質を目指して～ペガサスにおける取り組み」と題して、病院経営者の立場から他部署の先輩が後輩を指導育成する独自のメンター制度などの発表が行われました。

引き続き、特定医療法人美杉会佐藤病院の看護部長高須久美子氏から「中小病院におけるワークライフバランスの取り組み～働きやすい職場づくり」と題して、看護部長の立場から仕事と家庭の両立の取組などについての発表が行われました。

最後に、特別講演として有限責任監査法人トーマツのヘルスケアコンサルティング・マネージャーで社会保険労務士の吉岡拓也氏から「看護管理者に必要な人事労務管理のノウハウ」と題して、看護師確保対策に必要な「引き付け力」・「見極め力」・「引き止め力」というキーワードを用いて実践的な講演が行われました。

また、本研修会の開催にあたり参加者の皆さんに「受講アンケート」の協力をお願いいたしました。アンケートの提出は 134 枚（回収率 48.7%）で、その結果については、別紙のとおり、「参考となった」という回答が多数得られました。

看護師等の「雇用の質」の向上のための研修会

【日 時】 平成24年3月22日（木）13:00～16:30
【場 所】 ナーシングアート大阪（大阪市城東区嶋野西2-5-25）
【主 催】 看護師等の「雇用の質」の向上のための企画委員会

研 修 次 第

◎冒頭挨拶 看護師等の「雇用の質」の向上のための取組について

大阪労働局 局長 西岸 正人
社団法人大阪府私立病院協会 会長 生野 弘道
社団法人大阪府看護協会 会長 豊田百合子

◎研 修① 労務管理の基礎知識、両立支援制度、雇用確保等について

大阪労働局労働基準部監督課 課長 角南 巖
大阪労働局雇用均等室 室長 荒川あや子
大阪府健康医療部医事看護課 補佐 丸尾明代

◎研 修② 病院ヒアリングの結果報告

労働時間設定改善コンサルタント 茶園和紀

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ 休 憩（10分） ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

◎研 修③ 取組事例発表

社会医療法人ペガサス 理事長 馬場 武彦 氏
特定医療法人美杉会佐藤病院 看護部長 高須久美子 氏

◎特別講演 「看護管理者に必要な人事労務管理のノウハウ」

有限責任監査法人トーマツ
ヘルスケアコンサルティング・社会保険労務士
吉岡 拓也 氏

◎閉会挨拶

大阪労働局労働基準部長 辻 知之

【企画委員会の参画団体】

大阪府医師会、大阪府病院協会、大阪府私立病院協会、大阪府医療法人協会、大阪精神科病院協会
全日本病院協会大阪府支部、大阪府看護協会、大阪府健康医療部、大阪労働局労働基準部・職業安定部・雇用均等室

研修会の受講アンケートの結果概要

研修会参加病院は 187 病院で、参加者は 275 人でした。このうち、アンケートの提出は 134 枚で回収率は 48.7% でした。アンケート項目に対する回答状況は、以下のとおりでした。

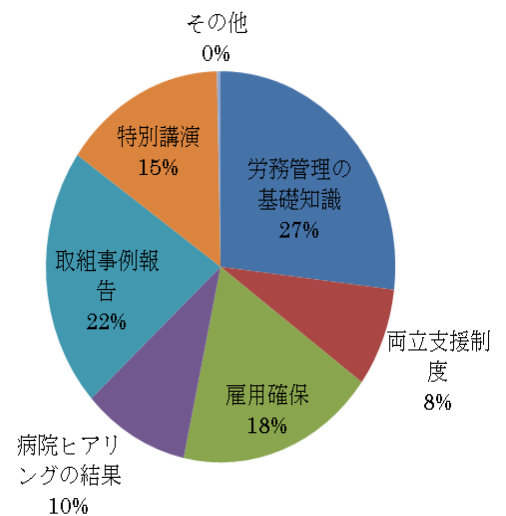
1、何に興味を持ってこの研修会に参加されましたか？

① 労務管理の基礎知識	79 (26.9%)
② 両立支援制度	24 (8.2%)
③ 雇用確保	54 (18.4%)
④ 病院ヒアリングの結果報告	29 (9.9%)
⑤ 取組事例報告	63 (21.4%)
⑥ 特別講演	44 (15.0%)
⑦ その他	1 (0.3%)

※ 複数回答可

【コメント】最も多かった回答は「労務管理の基礎知識」で、基本的な労務管理知識に対する周知の必要性が認められる。また、具体的な取組事例を参考にしたいという要望も多い。

何に興味があったか？



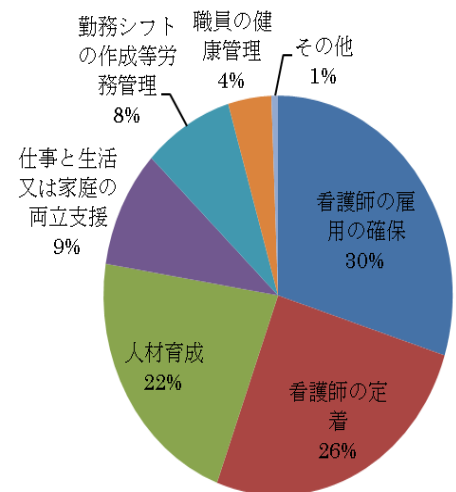
2、貴病院における課題はどういったことですか？

① 看護師の雇用の確保	97 (29.8%)
② 看護師の定着	84 (25.8%)
③ 人材育成	71 (21.8%)
④ 仕事と生活又は家庭の両立支援	31 (9.5%)
⑤ 勤務シフトの作成等労務管理	27 (8.3%)
⑥ 職員の健康管理	13 (4.0%)
⑦ その他	2 (0.6%)

※ 複数回答可

【コメント】「看護師の雇用の確保」及び「看護師の定着」という雇用管理の課題が合わせて半数以上を占めており、次いで「人材育成」という雇用の継続にかかる課題が認められる。

病院における課題は？

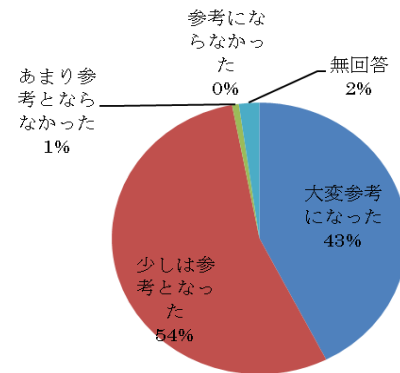


3、受講された結果はいかがですか？

① 大変参考となった	57 (42.5%)
② 少しは参考となった	73 (54.5%)
③ あまり参考とならなかった	1 (0.7%)
④ 参考にならなかった	0 (0.0%)
⑤ 無回答	3 (2.2%)

【コメント】「参考となった」との回答を合わせると 97% となり、概ね好評であった。

受講した結果は？

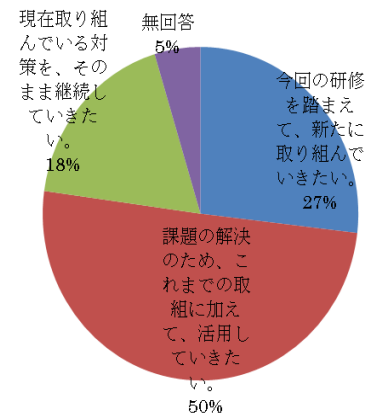


4、「参考となった」と回答された方は、どのように参考となりましたか？

① 今回の研修を踏まえて、新たに取り組んでいきたい。	40 (26.8%)
② 課題の解決のため、これまでの取組に加えて、活用していきたい。	75 (50.3%)
③ 現在取り組んでいる対策を、そのまま継続していきたい。	27 (18.1%)
④ 無回答	7 (4.7%)

【コメント】取組事例や講演等で得られた知識を活用するという回答が、8割近く認められた。

どのように参考になったか？



5、今後取り上げてほしい取組内容等ご意見、ご感想等

①今後取り上げてほしい取組内容	②研修会に参加しての感想	③その他要望、問題点
<ul style="list-style-type: none"> ● 労務管理の基礎知識について、もっと詳しく知りたい。 ● クリアしなければならなかった課題や、周知方法、体制の構築方法 ● 病院の取組事例をもっと知りたい。 ● 成功事例だけでなく、失敗事例も聞きたい。 ● 採用・退職時における取組の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ● 取組事例の発表が参考になった。 ● 自らの振り返りとスタッフのとらえ方を見直す機会となった。 ● 働きやすい職場づくりに取り組みたい。 ● もっと時間をとってやってほしい。 ● 管理職が元気がでるよう取り組みたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 病院経営において、利益優先であると看護の雇用の質の向上は望めない。 ● 民間病院の現状について、行政が監査を行って改善してもらいたい。 ● 人材が豊富でない病院では取組は難しい。 ● ナースの専門性の発揮や医療の改善には行政の力が必要である。